

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実								
基本事業	01 教育内容の充実								
開始年度	平成18年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒

手段（事務事業の内容、やり方）

文化・芸術など多岐にわたる分野の中から秀でた社会人を幅広く募り、各教科の授業の中で講師として活用する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒の学習意欲や興味等を向上させるとともに、将来設計意識や職業観等の育成を図る。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,441	9,274
対象指標2						
活動指標1	社会人を活用した授業を申請した学校数	校	12	11	13	27
活動指標2						
成果指標1	社会人を活用した授業を実施した学校数	校	12	11	13	27
成果指標2						
事業費(A)		千円	430	377	701	700
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	1,233	1,179	1,482	1,482

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から秀でた社会人を幅広く募り、授業や各種教育活動の講師として活用する。	報償費 701千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
様々な分野で秀でた社会人を各学校に派遣し、実践的かつ質の高い授業を行うことで、児童生徒の学習意欲や学力向上を図るほか、職業観等の育成を図る。
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	様々な分野で秀でた社会人講師を各学校に派遣することにより、通常授業とは異なる視点をもつ興味深い授業を行うことができ、妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	学習意欲や学力の向上と将来設計意識の育成に貢献している。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	専門性を持った社会人講師から授業を受けることにより、児童生徒の学習意欲や興味等の向上、職業観等の育成が図られた。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	新しい分野の社会人講師を活用し、実施校数を増やすことで、成果を向上させることができる。 また、総合学習の授業にも活用できるようにする。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠
	社会人講師を活用するにあたり、これ以上報償単価を引き下げるのは難しい。